会　議　記　録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和４年度第２回　高松市図書館協議会
開催日時	令和５年２月２０日（月）午後１時３０分～午後２時４０分
開催場所	サンクリスタル高松　３階　第１集会室
議　　題	(1)　令和４年度図書館評価について (2)　令和５年度事業計画について (3)　その他
公開の区分	■　公開　　□　一部公開　　□　非公開
上記理由	高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針に基づく
出席委員	澤田会長、渡邊副会長、吉田委員、大熊委員、岡田委員、笠井委員 石原委員、徳山委員、藤本委員、福留委員、武田委員
傍 聴 者	０人
担当課連絡先	中央図書館８６１－４５０１

審議経過及び審議結果

議題１　令和４年度図書館評価について

委　員：子どもたちの読書活動と自主的な学習活動の指標については、達成している指標が多いが、中学生ビブリオバトル大会応募者数をもう少し多くできないか？

事務局:周知を行い、さらに学校にも働きかけを行ったが、応募状況が芳しくなかった。今年度の状況を維持したいが、目標の 30 人は難しい。以前は学校で予選なども行われていたが、コロナで行事が行われなくなったこともあり、参加者も減っている。参加者９人でも十分見ごたえのある大会になり、大会自体は満足している。

委　員：中学生ビブリオバトル大会の参加者の次年度の目標値を下げているが、下げるとさらに参加者も下がるような気がするので、目標値は高いままにし、何とかそれに近づけていく考えもある。

事務局：目標は元に戻すことにする。

委　員：学校や学校図書館との連携の中で、学校に貸出する際に、こういうふうな活用方法があるというような働きかけをすると、団体の貸出冊数も増えるし、もっといろんな方面の勉強をしてみたいという気持ちになる子どももいるかもしれないので、そういう働きかけもいいのではないかと思う。

委　員：移動図書館車の貸出冊数で、移動図書館車の巡回箇所はコミュニティセンターや幼稚園、保育所の近くである場合がある。幼稚園や保育所への働きかけはどうなっているのか？

事務局：施設によって積極的に借りていただけるところもあるが、車を置くだけとなっているところもある。移動図書館のポイントを設けるというお知らせをするが、園の都合もあるので、無理に借りてくださいとは言えない。子どもだけではなく、近くに図書館などがない地区は、お母さんや高齢者などにも御利用いただいている。

委　員：市民１人当たり貸出冊数は、目標値が今年度実績よりだいぶ高めになっているが、見込みがあるのか？

事務局：市民１人当たり貸出冊数は、他の計画にも指標として挙げられているもので、令和５年度の目標値が８．２冊となっている。現状とは離れているが、その目標値に合わせている。

委　員: サンクリスタル学習やこども未来館学習などは市内の地域的に限られたところと思う。香川・国分寺・牟礼などにも図書館があるので、利用して学習が行われたらいいと思う。

事務局：目標値としてサンクリスタル学習とこども未来館学習の参加校となっているが、例えば国分寺図書館では、国分寺北部・国分寺南部小学校、香川図書館でも近隣の小学校等が見学に来たりするなど、地域館でも小学校等と連携して図書館に見学に来ていただいたくような活動はしている。サンクリスタル学習、こども未来館学習も全市域の小学校から希望を取り、来ていただいている全市的な行事である。

審議経過及び審議結果
委　員：ビジネス支援について、どんな講座が開かれたのか？今はインターネットで情報がどんどん入ってくる時代で、図書館で対面講座が開かれると、中には魅力を感じられる方もいると思う。 事務局：平成２９年度まで「ワーク＆ライフ応援セミナー」や「創造・経営支援セミナー」などを高松大学と日本政策金融公庫と共催で行っていたが、３０年度に市役所の産業振興課内に立地・創業・イノベーション支援室ができ、役割分担でそこでやっていただけるということとなった。図書館は講座があった時に情報提供をすることで連携をしているが、コロナで、そういうこともできない状況で、令和４年度はしていない。 委　員：５年生の子どもたちが学校を離れて、図書館を含め、菊池寛記念館、歴史資料館１日有意義な学習をさせていただいている。サンクリスタル学習は子どもたちが本に興味を持つという一つの契機にもなっているし、非常に充実した学習をサンクリスタル高松でさせていただいている。 議題２　令和５年度事業計画について 委　員：ブックスタート事業ですが、本を手にしたお母さんが本に向き合うというか、その動機付けになり、とてもいいことだと思う。ぜひ、１年くらい後のセカンドブックの活動もできればいいと思うので、御検討いただきたい。 事務局：セカンドブックは大事なことだとわかっているが、予算面等難しいところもあるので、実際に図書館に来ていただけるような取組をしたい。 委　員：表記の問題かもしれないが、夢みらい図書館では読書バリアフリー推進書架となっているが、中央図書館では障がい者支援コーナーとなっている。せっかく、読書バリアフリー計画を立てたのだから、りんごの棚は読書バリアフリー推進書架とした方がいいのではないか？ 事務局：統一しておく。 委　員：令和５年度も移動図書館で読み聞かせ等が予定に入っているが、移動図書館車の貸出冊数の達成率が７７．８％で、移動図書館がせっかく行くのに、移動図書館車が来ることを園の行事予定に入れていただければ、子どもだけでなく保護者も行ってみようと思うのではないか。大変だと思うが、少しでもアピールすれば、保護者同士の間でも移動図書館の話題にもつながるし、貸出冊数の達成率も上がってくると思う。 事務局：こちらの都合だけでは難しいと思うが、施設に周知はしたい。 委　員：小・中・高、子育て、障がい者、ビジネスなどいろんな支援を行っているが、中高年支援がない。中高年には中高年の課題があって、退職、年金、確定申告などが気になると思う。そういったことをわかりやすく説明する講座を作ったり、中高年生活支援関係図書を集めて展示するなど、多い客層を拡大・発展させていくことは、ビジネスのセオリーなので、ぜひやってみたらいい。 委　員：図書館のホームページだが、各館の広報誌を一覧で見ることができるページがない。各館の情報も関連して表示されているわけでもなく、探しづらい。また、お知らせも割と早く消えるので改善していただけると助かる。 事務局：ホームページは御不便をおかけしている。図書館システムと連動しており、我々では思うように編集ができない仕組みになっている。わかりやすくしてもらおうとすると、別途料金がかかる。今すぐには改善できないが、次期の図書館システム更新の際には、ホームページを改善したい。 委　員：リニューアルの時は完全に閉館となるのか？ 事務局：まだ工事内容が決まっていないが、内装工事を行うとなると、中に入ることはできないので、おそらく完全に閉館となると思う。 委　員：リニューアルの閉館期間はどのくらいになるのか。 事務局：基本設計が決まると、だいたいの期間が決まるようになると思うが、現時点では全くわからない。また、最近は物資の調達が非常に遅く、物によれば、１年先でなければ調達できないため、期間は今のところ全く読めない。思っているより長期になる可能性は十分ある。

審議経過及び審議結果
委　員：全面閉館となった際に、利用者は地域館、分室などを利用するのか？中央館しか持っていない本は利用できなくなるのか？予約図書だけを窓口で貸出すことは？ 事務局：建物全体が工事範囲となるので、本を取りに行くこともできない。できるだけその期間を短くするために、部分しゅん工などを検討しているが、何とも言えない。 議題３　その他（電子図書館導入後の利用状況について） 委　員：トータルでどれくらいの方が利用されているのか？また、閲覧と貸出の違いがわからない。 事務局：貸出は８，２５０点で、閲覧が２１，１７４件。同じ人が何度も借りたり、電子図書館を見たりするが、１度でも電子図書を借りたことがある人の人数が実利用者数で、４，３８４名。 委　員：電子図書は旅行に行く時に何冊も持っていけることや、文字を拡大することができるなど、いろんなメリットがある。しかし、リアルな紙の図書の方が本を読んだ気になる。そういうふうにしながら、電子図書へ移行していくと思う。